

我がまちの支え合い活動 児島地区

琴浦東

唐琴自主防災会連合会 逃げ遅れゼロを目指した取り組み



地上げを行い、防災力を向上させた唐琴自主防災会館は、地域独自の避難場所として活用されています。

唐琴地区では、平成16年の台風16号による高潮災害により、独居高齢者が自宅で逃げ遅れるという被害が発生しました。

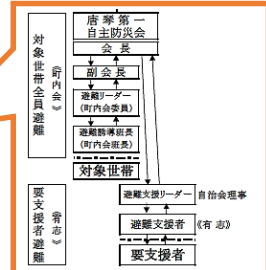
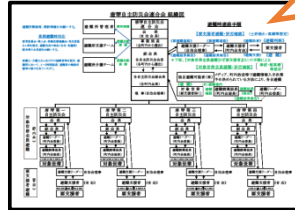
唐琴自治会は、「自主避難できない人を救うしくみが必要である」と、既存の自主防災会を「唐琴自主防災会連合会」として再構築。市の要援護者台帳とは別に、本当に逃げられない人の再調査を実施し、災害の種類ごとに対象者の選別を行いました。

そして有事の際には、要支援者1人に対し2人が支援する体制や、自家用車で逃げるためのルールづくり、平時からの信頼関係づくり等、「守りたい」という思いを紡いでいく結果、素晴らしい防災のしくみが生まれています。

わがまちの様子

総人口	6,409人
高齢化率	39.4%
高齢者支援セター	琴浦
地域のトピック	唐琴自主防災会連合会の取り組みは、真備町の服部地区が取り組んでいる「見守り支え合い活動」のモデルとなった取り組みとしても有名です。

唐琴自主防災会連合会 組織図



避難支援者・要支援者一覧

住所	氏名	年齢	性別	要支援者	避難支援者
唐琴4-1	山田 太郎	75	男	○	○
唐琴4-2	佐藤 花子	82	女	○	○
唐琴4-3	鈴木 一郎	78	男	○	○
唐琴4-4	田中 美穂	80	女	○	○
唐琴4-5	高橋 健太	72	男	○	○
唐琴4-6	中村 由美	76	女	○	○
唐琴4-7	山本 隆夫	79	男	○	○
唐琴4-8	水野 恵子	81	女	○	○
唐琴4-9	石川 浩二	74	男	○	○
唐琴4-10	森田 千代	77	女	○	○

住所	携帯電話	内宅	全戸	日中
唐琴4-1	高橋、戸畑	△	△	○
唐琴4-2	子、勤務中独居	○	○	○
唐琴4-3	子、勤務中	○	○	○
唐琴4-4	全日支援者	○	○	○
唐琴4-5	夫支援不要但し妻の支援は不可	○	○	○
唐琴4-6	支援家族無し	○	○	○
唐琴4-7	夫婦とも支援者	○	○	○



朝収穫した野菜や猪肉がふんだんに入ったカレーライスで、身体の免疫力向上を目指します！



前半の勉強会の様子。男性の参加率も高く、新型コロナウイルスの予防に関する情報共有も行っていきます。

琴浦北

白尾サロンの健康づくり

わがまちの様子

総人口	322人
高齢化率	48.45%
高齢者支援センター	琴浦
地域のトピック	バス路線廃止にとまない、現在は移動支援の立ち上げに向けた話し合いやアンケート調査も行われています。

「白尾サロン」の山頂で開催される「白尾サロン」では、あえて身体を動かす体操等は行っていません。その理由は、ハードな作業の後（畑仕事等）、山頂にある集会所に集まっていることがすでに十分な運動であり、もはや運動は必要ないとのこと。前半は学習の場、後半は地元で収穫された食材を使った食事を開催しています。時折他地区のサロンから交流を兼ねた見学者も訪れているとのこと、自然なつながりも生まれています。

白尾サロンは、運動・食・交流・美しい自然等、健康づくりに欠かせない多くの機能を備えた地域の通いの場です。

琴浦南

児童クラブの取り組み フードパントリーみらい



フードパントリーみらいに関わるメンバー
主任児童委員や民生委員、愛育委員、PTA等、子ども達の
未来を思うメンバーが集まっています。

琴浦南小学校区内にある琴浦南
みらい児童クラブでは、※互近
助パントリーサポーターとして、
児童クラブ内にパントリーボツ
クスを設置しています。「未来
ある子ども達のために」との思
いを込めて「フードパントリー
みらい」という名称で活動して
おり、定期的に開催されるフー
ドシェア等のイベントでは、子
ども達や保護者だけでなく、地
域に住む多くの人が参加してい
ます。
フードパントリーみらいは、
児童クラブと地域をつなぐ架け
橋として活動しています。

※互近助パントリープロジェクトについては、
P20の下段をご参照ください。



地域から集まってくる食品・
食材からは、子どもたちを思
う気持ちの大きさが伝わって
きます。



メンバーがデザイン・
作成したイメージマス
コット

わがまちの様子

総人口	4,764人
高齢化率	32.33%
高齢者 支援センター	琴浦
地域の トピック	琴浦南小学校区小地域ケア会 議では、新型コロナの影響に より集合型の会議は開催でき ませんでした。 「つながる 回覧」を活用し、集わない形 での開催を行いました。

みらいの宝箱

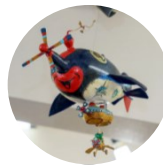
特技をもった住民が
集まり、ものづくり
やイベントを開催し
ています！



みらいの宝箱で制作した「瓢箪募
金箱」には、たくさんの人達から、
赤い羽根共同募金が集まりました。



ちいきの玉手箱 住民手作りの作品が多数
展示されている、地域の美術館です。



わがまちの様子

総人口	8,323人
高齢化率	33.46%
高齢者 支援センター	琴浦・児島中部
地域の トピック	琴浦西小学校区には常設型の ふれあいサロン「交流サロン ふらっと」等、自由に交流で きる場所や趣味や特技を楽し める場所が多くあります。

特色に秀でた手工芸品や絵画、
ちぎり絵など、地域住民の特技
・才能が集まるちいきの玉手箱
・そしてものづくり工房やピザ窯
・BBQなど、様々な地域交流活
動に活用されているみらいの宝
箱。
この二つの拠点は、「地域に
住む方々の特技や才能を自画自
賛で終わらせたくない。特技・
才能を活かしたつながりづくり
の場を地域につくりたい」との
思いから、社会福祉法人王慈福
社によって建てられました。
地域住民をはじめ、施設の利
用者や園児といった、地域で生
活する多くの人が活用するこの
場所は、地域共生の拠点として
も注目されています。

琴浦西

ちいきの玉手箱&みらいの宝箱



つながるパントリーに参加した子ども達から届いたお礼のお手紙。今回取り組んだことで生まれた成果(つながり)です。

新しく体験して！ 一緒に作って！

つながるパントリー

※パントリーは一地域のつながりから届いた品物を提供する取り組みです

2月5日(土)10:00~12:00

食料、日用品、文房具などを提供させていただきます！

無料提供！お申し込み不要！

対象 上小川地区(小8、4、837B~7T)にお住まいの方(2020年度生)

場所 児島集会所(春日駐在所横、児島南町2322)

持ち物 エコバッグをお持ちの方はご持参ください(ご用意できません)

イベント内容 パントリー配布中！

パントリーに加えて**的当てゲーム**や**健康チェック**も同時に開催します！

まよひの森でぜひとっぴかふれん 児島

主催：児島小学校区小地域ケア会議
協賛：児島市社会福祉協議会
お問い合わせ：TEL 086-473-0847



小地域ケア会議のメンバーと住民が触れ合う機会になりました。

児島

つながるパントリー

児島小学校区小地域ケア会議では、健康づくり、つながりづくり、食料支援等、多くの機能を複合させた「つながるパントリー」を、小地域ケア会議主催で実施しています。

会議室を飛び出し、多くの住民で「集う」ことは、健康状態の把握や三世代交流はもろろん自然な声掛けや、身近な困りごとをキャッチする機会にもなっています。

会議室のなかで考えるのではなく、「地域のなかで何かやってみよう」という思いから生まれたこの活動は、今後の地域づくりにおける新たな可能性を秘めています。

わがまちの様子

総人口	12,235人
高齢化率	29.3%
高齢者支援センター	児島中部
地域のトピック	マリン地区社協主催の「児島小学校区サロン交流会」の開催等、地区社協とふれあいサロンの連携が広がっている地域です。



小地域ケア会議で何度も検討を重ねました。



わがまちの様子

総人口	5,079人
高齢化率	37.15%
高齢者支援センター	児島中部
地域のトピック	集会所を開放した「こどもの遊び場」等、地域と教育機関との連携も盛んな地域です。令和3年度には倉敷市総合防災訓練も実施され、防災への意識も高まっています。

困ったときに

あなたの身近な相談先

暮らしに関すること、困りごと、悩むことなどお気軽にご相談ください

- 困りごとの相談窓口**
 - 電話による相談
 - 面談による相談(予約制)
 - 直接来所による相談(予約制)
- お困りのこと・悩むこと**
 - お困りの相談・援助
 - 相談機関 など
- 地域の方の緊急相談窓口**
 - 健康から思いつく
 - 高齢者に関する悩み
 - 子育てに関する悩み
 - 生活に関する悩み
 - その他

私たちこんな活動しています

活動内容

- 健康づくり活動
- 食料支援活動
- 生活支援活動
- 地域交流活動
- 防災活動
- その他

緑丘

あなたの身近な相談先

「あなたの身近な相談先」自治会連合会をはじめ、地域で活躍する団体の情報を掲載しています。地域独自の資源をまとめた「あなたの身近な相談先」は地域のつながりづくりをお手伝いします。

緑丘小学校区小地域ケア会議では、新型コロナウイルスの影響により思うような活動が停滞するなか、小地域ケア会議の構成メンバーが所属する各組織の活動を再共有する取り組みを行いました。

そして再共有した情報は、「コロナ禍の今だからこそ、困りごとを抱えた地域の人々に情報が届くように」と、「あなたの身近な相談先」としてまとめ、自治会等を通じて地域に発信されました。

これらを通じて、住民の困りごと相談も増え、住民同士の困りごととして活用されています。

味野

災害に強い地域づくり

学防災シリーズ

令和元年



「防災くるくる探検隊」小学生と一緒に通学路を歩き、危険箇所の把握や社会資源（電話ボックスや消火栓等）の確認を行いました。把握した情報はマッピングし、参加者全員で共有しました。

令和2年



「みんなで作って学防災」被災した後のことを考え、土のう袋づくりや、非常食を自分で作って食べる体験も行いました。

令和3年



「みんなで体験学防災」災害発生時のイメージづくりのため、消防団の活動紹介や煙体験、消火器訓練、段ボールベットづくりを行いました。



終了後は「大正橋こども食堂」へ行きました！

わがまちの様子

総人口	4,835人
高齢化率	35.53%
高齢者支援センター	児島西
地域のトピック	令和3年度には多くの協力者の方々に支えられ、「大正橋こども食堂」が立ち上がりました。 【大正橋こども食堂】 開催日：毎月第3土曜日 11時～14時

味野地区小地域ケア会議では、味野地区の防災力の向上を目指し、味野小地域学校協働本部実行委員会と協力し、毎年「学防災シリーズ」と称して防災イベントを実施しています。取り組みを続けるなかで、防災の意識や知識の習得はもちろんです。地域で生じるあらゆる課題に対応できる力が育まれています。「学防災シリーズ」は平時から取り組むべき取り組みです。すばらしい取り組みです。

本荘

本荘地区社会福祉協議会 YouTubeチャンネル



チャンネル登録よろしくお祈いします！
YouTubeで「本荘地区社会福祉協議会」と検索！



わがまちの様子

総人口	3,535人
高齢化率	36.61%
高齢者支援センター	児島西
地域のトピック	認知症カフェの運営や、地域住民による地域住民のための本荘活性化推進協議会（生活支援団体）等、支え合いの取り組みも活発です。

本荘地区社会福祉協議会では、「コロナで集えない」という課題を解決すべく、情報発信技術の活用に取り出しました。YouTubeチャンネルを開設し、新型コロナウイルスで不要不急の外出自粛が求められるなか、自宅に居ながら地域行事を楽しめるように、毎年の定番行事であった「雛めぐり」の準備やイベントの様子を動画として公開しました。その後はふれあいサロンで、「LINE講座」を開催するなど、地域みんなでつながりが途切れない取り組みを行っています。



意見を交わす関係者

「コロナに感染した人たちにこそ支援が必要。感染者は決して非難の対象ではない。非難を強めることは、体調不良を隠してしまい、病気の発見が遅れるかもしれない。地域で助け合ってコロナを乗り越えることが大切なのではないか」と話す民生委員。

と話されていたとのこと。
「心の距離」を近づける取り組みが赤崎にはありました。

赤崎

赤崎地区民生委員 児童委員協議会の支え合い活動

新型コロナウイルスに自分や身近な人が感染した場合、日常生活に多くの制限がかかってきます。子育て世帯も例外ではありません。「子どもにはお腹いっぱい食べさせたい。でも買物に行けない。頼る親戚もないし…」そんな課題に立ち上がったのが赤崎地区民生委員児童委員協議会です。
※互近助パントリープロジェクトを活用し、自宅療養を余儀なくされている人の自宅の玄関先に、食品・食材を届ける支援を実施しました。
感染し、孤立していた住民からは、「地域の人たちが見守ってくれたださっているんだと思うと、とても嬉しかった」と話されていたとのこと。

わがまちの様子

総人口	7,588人
高齢化率	33.05%
高齢者支援センター	赤崎
地域のトピック	赤崎竜王ふくし会（小地域ケア会議）には、地域子育て支援拠点や児童発達支援事業所等、子育てに関わる専門職も多数参加しています。



食材・食品を運ぶ民生委員

食べ物ではなく、「心」を運んでいるようにも見えました。

※互近助パントリープロジェクトについては、P20の下段をご参照ください。



自治会長の岩津さんは、「完璧な情報発信はない。いろいろな人に合った情報発信を考えていくことが大切」と話します。



「吹上サロン」情報を紡いだ先にあるのは「つながり」という地域の宝物でした。

わがまちの様子

総人口	2,425人
高齢化率	47.26%
高齢者支援センター	下津井
地域のトピック	吹上サロンは、デイサービスセンター しおかぜ城山の場所を活用した住民主体の通いの場です。この場所は届出避難所としても活用されています。

1.LINE



LINEができる方にはLINEで情報発信！

3.貼り紙



貼り紙もしっかり活用しています。

2.メール



カラケーの方にはメールで情報発信！

下津井

吹上自治会の情報発信

「情報発信」には様々な方法がありますが、一つの方法に偏ってしまうと、情報が十分に行き届きません。そんな課題に立ち向かっているのが吹上自治会です。LINE、メール、貼り紙や声掛けといった、一つの方法にこだわらない、様々な方法を活用し情報発信に取り組んでいます。また情報の共有は住民個人だけでなく、地域の通いの場である「吹上サロン」や地域の社会福祉法人といった、地域の様々な場や機関とのつながりの強化にもなっています。

下津井西

社会福祉法人 しおかぜ 地域支援事業による通いの場支援



地域住民からは「みっちゃん」の愛称で親しまれている地域支援事業担当の土岐 弥優さんのメイン業務は、「地域に出ること」。早朝から地域に出かけます。

手づくりの「健康手帳」には、天気・血圧・脈拍・体温の他、「今日のひとこと」を記載できます。

「社会福祉法人 しおかぜ」では、住民がいつまでも地域で住み続けることができるよう「地域支援事業」に取り組んでいます。その事業を担当する理学療法士の土岐 弥優さんは、下津井にある通いの場(約8か所)に足を運び、健康づくりへの助言やサロン運営の支援の他、様々な相談に対応します。コロナ禍においては、手作りの健康手帳を作成・配布し、家庭でも健康づくりに取り組めるしくみを考案しました。地域のため、住民のため、地域に寄り添う専門職は、今日も地域のどこかで活躍中です。

わがまちの様子

総人口	1,885人
高齢化率	38.99%
高齢者支援センター	下津井
地域のトピック	グランドゴルフが活発な地域で、中には365日行っているグランドゴルフ同好会もあります。

郷内地区では、公的な制度が使えない高齢者、障がい者の移動を支えるため、個人ボランティアの「サポートカー恵比寿」と、郷内地区社会福祉協議会の「ぐるっとごうない」が活躍中です。郷内地区では以前、コミュニティタクシーの導入も検討されましたが、山々に囲まれた郷内地区では、「乗り合い場所まで行けない」といった声も多く利用を断念。「ドアツードア」(玄関先から目的地まで)を基本に生まれた「サポートカー恵比寿」です。

わがまちの様子

総人口	9,077人
高齢化率	28.59%
高齢者支援センター	郷内
地域のトピック	令和3年度はコロナの影響で小地域ケア会議が実施できませんでしたが、今までの小地域ケア会議のつながりで「ぐるっとごうない」を含めた新しい取り組みが始まっています。



自家用車を活用した「サポートカー恵比寿」の車内には「※互助パントリーボックス」が設置されています。

郷内

サポートカー恵比寿 &ぐるっとごうない

「ぐるっとごうない」で使用する車は地域からのご寄付いただきました。



地区社協が取り組むことで、見守りや、つながりづくりにも役立っています。

※互助パントリープロジェクトについては、P20の下段をご参照ください。